



北海道北見支援学校

学校だより

第4号

令和7年3月24日（月）発行

教育目標：一人一人の児童生徒が自立し、社会参加するための教育をめざす
☆生活する力 ☆協力する力 ☆はたらく力 ☆とりくむ力

「今年度の教育活動に感謝申し上げます」

校長 坂 本 清

暖冬と言われた今年の冬でしたが2月は全国的な寒波に見舞われ3月に入っても雪が降る日が多く、このところようやく日ごとに暖かさを感じるようになりました。

さて、昨年度末に行った学校評価へのご協力ありがとうございました。今年度の結果と本校としての結果の分析については、本校 Web ページに掲載しておりますので、そちらをご覧くださいと思います。学校評価は、学校職員と保護者それぞれにアンケート方式で調査を行い、その集計結果をもとに今年度の教育活動を検証し、学校運営の改善と発展を目指していきます。今年度の保護者アンケートは約9割の方にご提出いただきました。多くのみなさんのご協力に感謝申し上げます。

アンケート結果からは、個別の教育支援計画、指導計画の作成や評価について分かりやすく説明が行われていることについて、高い評価がありました。参観日や個別懇談へ多くの皆様がお越しいただき、授業の様子や日常の教室の様子をご覧いただいていることから、共通の意識で進めることができていると思います。反面、お子様の進路について、いつどのように情報を得て良いのかわからず不安があることや、各学部や学校全体の学習活動の取り組みが分かりづらいことなどがあげられました。これらは、学級通信や定期的発行の学校だよりだけでは分からず、例えば進路研修への参加の呼びかけの推進や、ホームページやメール配信サービスの利用などによる情報発信を進める必要があると思われます。

教職員アンケートからは、働き方改革に対する取り組みにより、昨年度より改善が図られている部分がありますが、依然として負担が大きいと感じている職員も多いことがうかがえます。しかし、職員のみ行った別のアンケートでは、その反面「仕事にやりがいを感じている」と答えた比率が上がり、懇談などで子どもたちの成長を保護者の皆様と共有する機会をととして、教職員としても次に向けた意欲の向上が感じられました。

次年度に向け、これらの学校評価の結果から、本校は保護者の皆様、地域の皆様、教職員、そして様々な教育内容が「つながる」ことをキーワードに教育活動を展開し、子どもたちが学びを
楽しめる学校となり続けることを目標に取り組みたいと思っております。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様と共に、子どもたちの豊かな未来に
つながる教育を進めるため、皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。



小学部 3 学期の学習の様子

3学期は冬の醍醐味のスキー学習や雪遊びの季節です。例年小学部1年生は初めてスキー靴を履く子もいるようで、あっちこっちで尻餅を付きながら、なんとか前に進んでいる、可愛らしい姿が風物詩です。それでも2回、3回と学習を重ねると、どんどん上達します。表情に余裕が出てくる頃は、「もうすぐ2年生」の頼もしさを手に入れる1年生でした。

3月10日に「卒業を祝う会」がありました。9名の6年生を小学部全員でお祝いしました。各学級からのビデオメッセージを見たり、歌を歌ったりしながら6年生と過ごす残り少ない時間を惜しみつつ、心を込めて作ったプレゼントを渡しました。少し照れながらも、お礼に「ひまわりの種」を配った6年生は「もうすぐ中学生」の凛々しい顔でした。(文責：長尾)



中学部 3 学期の学習の様子

3学期が始まってすぐにスキー学習が行われました。グラウンドの雪の上を歩くことから始め、慣れてきたら築山の斜面をスキーやそりで滑りました。楽しそうな歓声が響き渡り、冬のスポーツを思い切り満喫することができたようです。2月6日には「訓子府中学校との交流学習」が行われました。特に、盛んに盛り上がりを見せた「だるまさんが転んだ」では、会場が緊張状態に包まれ、少しでも動くとボールを当てられた生徒が「悔しい」など、普段は見せない表情や気持ちを伝えていました。受検を控えている3年生を応援するために1, 2年生が力を合わせて「受検応援会」を企画しました。当日はメッセージ入りの合格祈願絵馬を渡したり、全員で「お絵描きですよ」などのゲームをしたりして和やかな雰囲気での応援会となりました。17日には3年生全員が高等部合格！という嬉しい知らせがあり、3年生から1, 2年生に「合格したよ。応援してくれてありがとう！」という手紙が渡され、喜びを分かち合うことができました。

在校生は先輩たちを目標にして進級し、卒業性は在校生からのエールを胸に高等部へと羽ばたいてくれることでしょう。春の気配を感じながら、子どもたちの笑顔とエネルギーにあふれた3学期でした。(文責 川西)



高等部 3 学期の学習の様子

2/7(金)、北見柏陽高校器楽局の生徒が来校して共同学習が行われました。緊張しながらの自己紹介を経て、担当楽器ごとに集まってパート練習を行ってから「学園天国」を合奏し、「空も飛べるはず」を合唱しました。最後に器楽局の皆さんによる演奏を堪能しました。

2/20(木)には、一般就労、就労継続支援B型、生活介護に通われている卒業生が来校して「ようこそ先輩」が行われました。どんな仕事をしているのか話を聞いたり、実際に作業を体験したりして、「卒業したら、先輩たちのように頑張りたいな」などの声が聞かれました。

生活単元学習では、「主権者教育」について学びました。ワークシートを活用して自分の意見や考えを整理し、投票する候補者を考えました。自分に必要な支援を投票支援カードに書いたり、本物の投票箱や記入台に触れて投票したりして、模擬選挙を体験しました。

3年生は卒業制作で T シャツの草木染めに挑戦。自分たちで育ててドライフラワーにしたマリーゴールドから煮出した染色液に、真っ白な T シャツを浸してみると、鮮やかな黄色に染まりました。一見お揃いのようにあり、よく見ると模様や濃淡が個性を覗かせる素敵な作品に仕上がりました。この T シャツを思い出に旅立って行きました。(文責 中村)



転出・退職される先生方からのご挨拶

校長先生
坂本 清

保護者のみなさん、地域のみなさん、大変お世話になりました。2年間の短い間でしたが、楽しい思い出がたくさんあります。運動会の小学部の種目「校長先生の言うとおり」、学習発表会で登場した「サカモドーン」、集会活動みんなの広場で登場した「やさいくん」など、自分でもたくさん楽しめました。他にも、見学旅行に行かせていただき、児童生徒のみなさんと一緒にたくさん歩いたことは、忘れられない楽しい思い出です。4月からは、空知にある南幌養護学校へ行きます。これからも、校歌にあるように「みんなでなかよくささえあう すてきな北見支援学校」であってほしいと願っています。ありがとうございました。

教頭先生
原田 誠治

北見支援学校では、2年間勤務させていただきました。2年間という短い時間でしたが大変お世話になりました。

明るく元気で個性あふれる子ども達との関わりの中で、楽しく充実した日々を送ることができ、嬉しく思います。これからもまっすぐに育っていく子ども達を心から応援しています。

また、保護者の皆様には、様々な場面でたくさんのご理解・ご協力をいただき、支えていただきましたこと、とても感謝しています。

4月からは、中札内高等養護学校幕別分校で勤務します。北見支援学校で経験した実践を新天地で活かしていきたいと思います。

本当にありがとうございます。

小学部
竹内 享子

7年前に北見支援学校に来たときは、今年の中学部3年生がまだ小学部3年生でした。小さかったのに、もう背の高さは追い越されました。7年という日々はとても早かったと感じます。

7年の中でたくさん子どもたちと出会い、たくさんの楽しい思い出ができました。子どもたちを指導する立場ではありますが、教えられることの方が多かったように思います。失敗の多い私でしたので、保護者の皆様は、見ていて心配なこともあったと思います。温かく支えていただきありがとうございました。

4月からは、網走養護学校で勤務します。引っ越しはしないので、買い物をしているときなどに会うことがあると思います。そんな日を楽しみにしています。

高等部
鶴見 悠輔

この学校に赴任して、5年がたちました。峠の鹿の多さ、寒すぎる冬、暑すぎる夏、、、初めはそんな北見に驚きを隠せませんでした。

この5年間は、とにかくいろいろな子どもたちとたくさん遊び、楽しい毎日でした。私はほとんどを高等部で過ごしましたが、学級や学年はもちろん、他学部の子ともたちも「遊ぼう!」と毎日のように来てくれたこと、本当に良い思い出です。保護者の皆さまには、至らないことばかりでしたが、温かく見守っていただきありがとうございました。

4月からは、平取養護学校で勤務します。これからも子どもたちに学ばせてもらいながら、たくさん遊んで元気にがんばっていききたいと思います。またどこかで会いましょう!

小学部
千種 一郎

私は網走から通勤していました。通勤経路の中には、国内最大級の水芭蕉の群生群があります。

水芭蕉の花言葉は「美しい思い出」。私の中では、北見支援学校で勤務できたことを象徴する言葉に置き換えることができます。

北見支援学校の児童生徒の皆さんは、本当に素敵です。昭和、平成、令和と元号が変わっても担任ができたことを誇りに思います。同時に、多くの仲間を支えられながら、今日という日を迎えることができたことに、心から感謝申し上げます。

最後に北見支援学校の益々のご発展を祈念いたしまして、退職の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

中学部
川西 幸恵

北見支援学校で約7年過ごさせていただきました。北見支援学校の子どもたちと過ごす時間が大好きでした。いつも優しくしてくださりありがとうございました。
この度、北見支援学校から卒業しますが、今後も子どもたちの支援に関わる仕事に携わりながらみなさんのことを応援しています。なので、またきっと会えます！そのときには、絶対に声をかけてくださいね、みなさんにまた会えることを心から楽しみにしています。

小学部
伊藤 英里

1年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。久しぶりの小学部で学習ができてとても楽しかったです。来年は紋別養護学校ひまわり学園分校に行くことになりました。1時間の通勤で腰を痛めないように頑張っていこうと思っています。ありがとうございました。

高等部
石井 香菜

このたび、1年間の勤務を終え退職することとなりました。短い間でしたが、児童・生徒のみなさんと過ごした時間は、かけがえのない貴重なものでした。元気なあいさつや笑顔に心が癒やされたり、一緒に色々な挑戦をしたり、うまくいかずに悩んだり、日々、ともに成長させてもらいました。たくさんのエネルギーをもらい、充実した1年間を過ごすことができ、大変感謝しています。

学校からは離れますが、これからもみなさんの穏やかな日々と成長を応援しています。退職後も、北見や近くの町にいますので、どこかでお会いできたら、声をかけてくださいね。ありがとうございました。

小学部
杉本 惇耶

北見支援学校では3年間お世話になりました。3年間で小・中・高と全ての学部で1年間ずつ携わり、たくさん子ども達と関わりました。

私自身至らない点もあったと思いますが、保護者のみなさまの教育活動へのご理解・ご協力に感謝いたします。

4月からは美深高等養護学校で勤務しますが、遠くから子ども達の成長を願っています。

看護師
谷川 良美

約6年間医療的ケア看護師として勤務させていただきました。

私自身も生徒のみなさんとの関わりを通してたくさんの事を学ぶことができました。

離れるのはとても寂しいですが、またいつかみなさんとお会いできる日を楽しみにしています。

【編集後記】

卒業式は、凛々しい先輩たちが社会人として巣立ちました。『旅立ちの日に』『ビリーブ』を歌う児童生徒のきれいな歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。卒業、進級おめでとうございます。雪解けの時期になり、乾いた路面が見えて歩きやすい季節となりましたが、溶けた雪が凍って滑りやすい路面もあります。お出掛けの際には、暖かい服装で足下に気をつけてお過ごしください。（文責：情報教育部 鈴木）